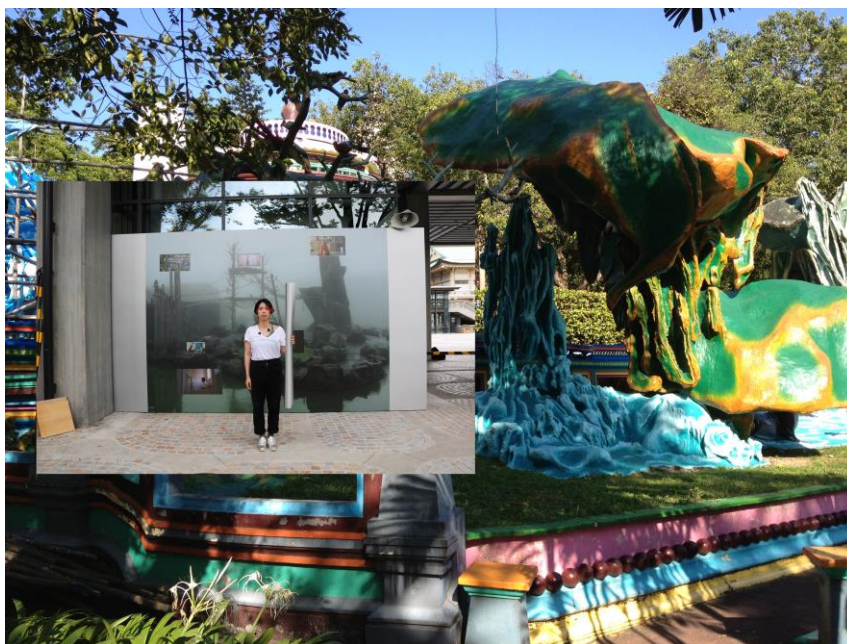


2020(令和2)年8月31日 報道発表資料  
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

チェルフィッチュ × 金氏徹平 『消しゴム畑』 at ロームシアター京都  
ロームシアター京都 ピロティにて展示開始!

チェルフィッチュ×金氏徹平による、人とモノと空間と時間の新しい関係性を提示する「消しゴム」シリーズの“日常空間版”



Visual design by Teppei Kaneuji

チェルフィッチュ × 金氏徹平 『消しゴム畑』 at ロームシアター京都

期間：2020年8月29日(土)～10月25日(日)  
時間：10：00～19：00（催物のある日は閉館まで）  
会場：ロームシアター京都 ピロティ  
無料・予約不要

作・演出：岡田利規

セノグラフィー：金氏徹平

出演：青柳いづみ、安藤真理、板橋優里、原田拓哉、矢澤誠、米川幸リオン

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

[本リリース発信元]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野  
電話:075-771-6051(9:00～17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

**人とモノが主従関係ではなく、限りなくフラットな関係性で存在するような世界を演劇によって生み出すことはできるのだろうか？**

チェルフィッチュ×金氏徹平による「消しゴム」シリーズの最新作をロームシアター京都で展示します。劇場版、美術館版につづく**“日常空間版”**です。

チェルフィッチュ×金氏徹平は、ロームシアター京都 サウスホールで初演した劇場版『消しゴム山』(2019年10月 KYOTO EXPERIMENT 2019にて初演)、美術館版『消しゴム森』(2020年2月 金沢 21世紀美術館にて初演)を通して、**それぞれの異なる形式の中で人とモノと空間と時間の新しい関係性を提示**することを試みています。人とモノが主従関係ではなく限りなくフラットな関係になること、人間的尺度で時間や空間を捉えることからの逸脱を、目指してきました。

そして、2020年5月からオンライン配信で取り組んでいる『消しゴム畑』では、これらの視点を“日常空間”に持ち込む実験に取り組んでいます。

今回、ロームシアター京都での『消しゴム畑』では、**多くの人々が行き交う劇場のピロティに展示することで、日常の中の人とモノと空間と時間の新しい関係性をさらに多層的に展開することに挑戦**します。実験と試行錯誤を重ねる『消しゴム畑』に、ご期待ください。

#### ステートメント

消しゴム畑はわれわれ誰しもの住まいの、すぐ裏手に存在します。なんなら家の中に存在しています。

というわけで、チェルフィッチュは、消しゴム畑を耕す営みに精を出してみることにします。

岡田利規

#### 【実際の展示風景】



## プロフィール

### 岡田利規 Toshiki Okada



©宇壽山貴久子

1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家・小説家・チェルフィッチュ主宰。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國土戯曲賞を受賞。2007年デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』(新潮社)発表、翌年第二回大江健三郎賞受賞。12年より岸田國土戯曲賞の審査員を務める。13年 演劇論集『遡行 変形していくための演

劇論』、14年戯曲集『現在地』(河出書房)刊行。16年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピーレのレパートリー作品演出を4シーズンにわたって務め、20年『The Vacuum Cleaner』が、ドイツの演劇祭 Theatertreffen の“注目すべき10作品”に選出。18年にはタイの小説家、ウティット・ヘームムーンの原作を舞台化した『ブラタナー：憑依のポートレート』をバンコクにて発表、12月にパリ、19年6~7月に東京で上演し、20年2月に第27回読売演劇大賞 選考委員特別賞を受賞。

### 金氏徹平 Teppei Kaneuji



©川島小鳥

1978年京都府生まれ、京都市在住。美術家・彫刻家。京都市立芸術大学美術学部彫刻科准教授。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。日常の事物を収集し、コラージュ的手法を用いて作品を制作。彫刻、絵画、映像、写真など表現形態は多岐にわたり、一貫して物質とイメージの関係を顕在化する造形システムの考案を探求。個展『金氏徹平のメルカトル・メンブレン』(丸亀

市猪熊弦一郎現代美術館、2016)など国内外での展覧会のほか、舞台美術や装丁も多数。あうるスポットプロデュース『家電のように解り合えない』(2011)、KAATキッズ・プログラム 2015 おいしいおかしいおしばい『わかったさんのクッキー』(2015-2016)での舞台美術をはじめ、自身の映像作品を舞台化した『tower(THEATER)』(KYOTO EXPERIMENT 2017)では演出を手掛ける。平成24年度京都市芸術新人賞、平成27年度京都府文化賞奨励賞、平成30年第29回タカシマヤ文化基金受賞。

## 展示概要

期間：2020年8月29日(土)～10月25日(日)

時間：10：00～19：00（催物のある日は閉館まで）

会場：ロームシアター京都 ピロティ

上演時間：約45分

無料・予約不要

※鑑賞の際は他のお客様と距離を空けてご鑑賞ください。

※写真撮影可。

※点検による一時展示中止などの緊急のお知らせはロームシアター京都公式 Twitter でお知らせします。

作・演出：岡田利規

セノグラフィー：金氏徹平

出演：青柳いづみ、安藤真理、板橋優里、原田拓哉、矢澤誠、米川幸リオン

映像：山田晋平

音響プランナー：中原楽（ルフトツーク）

音響アシスタント：吉田涼

施工：株式会社ゴードー

プロデューサー：黄木多美子、水野恵美（precog）

企画制作：株式会社 precog

主催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

製作：一般社団法人チェルフィッチュ

協力：京都岡崎 蔦屋書店、有限会社ルフトツーク、安藤誠英、上島由起子、遠藤七海、川上大二郎、鈴木康郎、高田政義（RYU）、藤谷香子（FAIFAI）、和田ながら

本展示に関するお問合せ：ロームシアター京都 TEL.075-771-6051

[本リリース発信元]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野  
電話:075-771-6051(9:00～17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp